

承認番号	3717
研究課題名	術中神経モニタリングを用いた甲状腺手術の安全性向上の検討
研究の意義・目的	甲状腺癌手術時に使用している持続的神経刺激から得られた神経ストレスの客観的データを、術前後の自・他覚的発声状態と比較検討することで、どのような病状や手技が反回神経損傷につながるのかを明らかにし、手術合併症の予防と軽減を図る。
研究期間	倫理委員会承認後 ～2019年3月31日
研究対象者の範囲	平成29(2017)年5月1日～平成31(2019)年3月31日に大阪公立大学医学部附属病院の乳腺外科で、甲状腺癌の手術を受ける入院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録
利用者の範囲	自施設のみ
研究機関の情報	
代表施設のURL	
試料・情報を公表する方法	該当しません
試料・情報の提供方法	該当しません
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	小野田尚佳（大阪公立大学大学院腫瘍外科 准教授）
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	手術前の説明時などに主治医にお伝えください。あるいは、大阪公立大学医学部附属病院乳腺外科受付まで申し出てください。